シスメース。 でまり **花プリ紙を各時のイスリキ・スエト主 ,ファきを寄取る構想** 

(徹明章54書がかん) し。るれ張多川の地が流、多重の程流 いる。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは ア大型表はれる、今。で行きろこいし稼むしかけ、よ見「・ 「ぬひお」アえ越る小文、え越る神地、え越る祈嫜、え越る。 。いるおくアン国际なは出境宣のされば<sub>。</sub>でま 農立、予妣のしておお、つこれされば、ゴえめの聖帝のこ・

ハE) 「『。るるお羊子、3軒のきれがるれるようい香い函 職、おい嫌。。 きん川で南大おる数。 さいてで許多数のモ珊 めてなる事、いろまの複多茶い自、き立の間の羊子と間の廻 職、依衆籍の養大の、とおいなれきえ渡され、み、な品言、瀬男 、ブガ土を目おさ六体。ふかまい光を壁命アであゴ主、ノ心し 。 をまいてが心置习実展いく溯コくこま、おさかれています。

コライスをかびょう しるめいおし ひゆしりはましゅ

。いちがくてえき金点財のおなあおされば、すまし代て Jクタを善量、CCJ冒郵をよこるをガクアせを規定アなみ 、私たちの働きは、あなたの宣教の一部です。あなたが始め、

いての田多姓言るだん江川界出い共、ブリュ会様されな開ゴル 文を、さなない合心学をい重アできる遊専。もまし近簿、し 騰葱多栽献苺見みでを洗 > ア来3本日を位国代 、約されば・

**不是的**更多 大部と熟取のよさが耐速置るで事が31を働るめるあ、会機需 信念・語国代の内国3会機器本日の代国でま 、ゴはかのそ・ 諸問題に取り組んでいきます。

るように道を聞かてください。 ・主よ、私たちは国境を越えて、文化を越えて、地球規模の で川本具なな豚の頭の全界莨帯に附会域全 ,ブノム機関多籍 会猷云本日回7歳のこ。いるタタクアい用アして眷野骨をえむ **画塚郎。いちガクアノ遊を戦の(責のさ六)。 私来いアいる** でプリ受る響像の客型3戦、なれ当い1調される武順の軒・

364 ままりならのまる 8 ものとなりますように。 のもか難んであれることがありませんように。むしろ、主にあるの向上に資す よれています。私たちか神を正しくおそれ、聖書の倫理とい 主き害薬な式液や題問いなてでは、い料ごも進の術技学科・

、い合え支、い合付はコロンス 、ノクな多項幣今機関。をまい のいを対シアを多更要多限型で合う原令。 アロなく J 貧をますまな苦い J 貧 、 本富をますまな苦む富・ だない。

>アサらなく苦る>でを時平、から賞自多聖帝を出る主をい 、も主、できいてここはな手弾で地名のこれをもとって、 ままいてここはな手弾で地名のこれをよっていることできない。 よいをおりてしられるを呼呼 。まる軒るむで主の戦時 ,るちが >

ブノ·な主き小文のパチパチ、き出き目略でまごく網の果世・ コさえるきがなくこしるめひわ「多<u>た翻烤</u>査☆炙麹を<u>小文</u>.a

。いちおくてかれ奇を羈意音事 **どれえこる減断、鑑賞るえ酬习害災るこ時习姿令、鑑賞む哉** 1977 4 4 4 4 7 3 4 5 7 5 9 7 6 7 7 4 8 6 4 7 7 2 8 4 (オノン)・私さかより、他大きとい風を実事なされば・

。 すまり誘かま登る耳い声きな声 、54 蘇なき大の此各るするめごれを温齢れされば。すまりあれた 此ろか人のままみかな置い訳状いし瀬、J災跡、titetos・

ペイをおりアし出 し附まされば、ゴミよる言がたくこともまりは交れる合きぐ トミンセ パー合え支ブできる金爛らり荷 , きよいなならこる で立成。4/5分~(でおる本団強重や会残るあ3)中の鞭因・

すまし麹実 , J 永重さるたれこ 多会数で合きな代ア系越多塑の「在此」3 「市路」31時、塑 の減地、多れ恵さり受みくこれれるえ様は会嫌のかずれる・

**ペルミストかできるようにしてください。** がLTン重を会嫌をもさらを解除31年世 ,かくこむ路の取り斑が 果で、仏海茶、川所事の減地、バを放稱る、仏念講気間、なされば・ 。コウよすまきずたよこるす縄挑却み

ガンプい用え煙をされば、3166六の起実の国の軒、5出順の 小文ペン様るあぶ王、A人を双多双息の音節33小文の減断・ ,コミよすまきずなよこる語を割る

こ〉国习実既ろ心のタ人な粉後、さななご入重を活主のタ人 し 発展を置風、小文、史型の対地式が位置、なされば・ てくださる主権者なる神さま。

11周3日本と世界各地に生きる一人一人を登し、生かし、

コさえるきがなくこしるめひわ」を大湖境宣立た越を刺妣.4

くなるり。 アノは協アノく会残るるかからゆのでー、い合ひ学、い合え アえきを心な趣糖、え加を愛コされ体。でまれ路り加コ残宜 サ、ブえ随き塑のき欄・会残・困残・飛送おされば、11主・

こますように。 逝師な音師、J規実は国の軒アいま习裡代るゆるあ、J実済 すますまプリュミの会様なき働な熱を動きの各イスじキ・

。ゴぐ 4 をまか 5 果 を 丑 責 附 会 卦 ブ し て 社 会 的 責 任 を 果 た せ ま か ブ し し

湖、れるの祭ぶるを必頼野な内括店の音酔でんなのされば・ よしまきてれるえ残く離れさればを割壊心のよこるもれ ので此災跡るよい害災さら襲き此各いるち 、災害大本日東・

福音をあまねく届けたいと願っています。 、リン����1<じキ・スエトプノ漸をしざけ「ゞしお」こし おされば、コミよれをきれてきかし、私たちは、

&んとてください。 さほい恩徳の非崇劇側る音び必いされがアス変多姿、アノホ 主のきよさに生きる者としてください。私たちの隠れた罪を C しなりとコめ去の者類点、J財託を形状治域の分割のこ・ 、(1まコれの五数、5 J嫌の楽字十のイスリキ・スエト、C

gLました。私たちはその罪を悔い死めます。 多罪でいるでも3家国るで要難を再参が称めている3国語 ななの代語さえ越る赤透、お会透のさんとおされな間ゴ本日 マジマ、パイ含再場劇刷るもと断る皇天、J 出加ゴ辛賀・グ プロペ いるおうごり切りよる言がなることの難見をのよい なれいおアえ変とよるきかるえ変 , CCVできる史土の会場・

殊、道冠コメもの各略の主、J鞋片をその軒式実真な会様・ まきの現実を付け交るるの愛、右側コ実忠ゴをもの引奉、育

。まち軒るな主い欄式でちがくアノく仕稿各のかる位のそ , 455~フえ加まされ添ぶ会嫌るでくるしゆましてじゃ・

コウよるきがなくこしるめひわ」を広路境置かえ越る旅場 .8

JCE7 東海宣言

「おわり」から「はじめる」 私たちの祈り

2023年9月

https://jcenet.org/jce7/

「おわり」を見つめることができるように

・ やがて栄光の主として来られ、天地を新たにしてくださる 世界の完成者なる神さま。

・ 私たち聖書信仰に立つ日本の教会が、京都会議から神戸会 議まで6回の伝道会議を重ねて宣教協力を深め、国内外の福音 宣教の働きに参与させていただいてきたことを感謝します。 私たちは、宣教の主ご自身がみわざを前進させてくださるこ とを信じ、主への期待をもってこの祈りを御前にささげます。

・今、私たちは「おわり」の時に立っています。民族は民族 に、国は国に敵対して立ち上がり、平和が脅かされています。 大きな地震があり、深刻な飢饉や未知の疫病が起こっていま す。

・ 環境破壊が急速に進み、災害が甚大化しています。世界の 各地で起きている迫害や紛争も深刻です。あらゆる分断が世 界を覆い、格差の拡大に、貧困に、倫理の混迷に世界中が痛 み、うめいています。

・ 教会が直面している困難も多面的かつ深刻です。多くの教 会で高齢化が進み、献身者の減少が顕著です。兼牧や無牧の 教会が増え、教会の合併や閉鎖、奉仕者の燃え尽きが止みま

・ 新型コロナ感染症のもたらした交わりの課題や経済的な困 難もあります。さらには、キリスト教から生まれた異端・カ ルトにより家庭が崩壊し、心も体も傷ついている人々が多く

・主よ、私たちが遭わされているこの時代の現実から目を背 けることなく、聖霊なる神に探られ、教えられて、悔い改め と主への信頼に生きることができるように助けてください。 「おわり」の日の幻を見つめ、希望をもってあなたにお仕え します。私たちをあわれんでください。

2. 立場を越えた宣教協力を「はじめる」ことができるように

・ 私たちをご自身のかたちとして造られた創造主なる神さま。 ・ この世に生を受けたすべての人が、神によって与えられた

いのちのゆえに、尊厳をもって福音に生きることができるよ うにしてください。

・ 家庭や学校で、声を上げることができないまま苦しむ子ど もたちに気づき、手を差し伸べることができますように。

・若い魂が主と出会い、神に由来する自分の存在意義をはっ きりと知ることにおいて健全に成長し、学ぶこと、働くこと、 そして遊ぶことを通しても、主を賛美する者となりますよう。 に。キリスト者の豊かな交わりに生かされ、聖書が語る希望 に人生の土台を据え、生涯を通して神との確かな関係に生き ることができますように

・ 独身として歩む人々と結婚に導かれる人々が、それぞれに 与えられる祝福を聖書から学び、賜物を生かして、主にある 喜びのうちに歩めますように。神の愛のうちに家庭が築かれ、 家族一人一人が、暴力や虐待などあらゆる危険から守られ、 祝福を味わうことができますように。

年齢を重ねた人々が、永遠のいのちの希望をもってさまざ まな変化を受け止め、「外なる人」は衰えても「内なる人」 は日々新たにされることを覚えながら歩めますように。

・性的少数者、外国人、路上生活者、重い病や心や体の「障害」を持った方など、偏見や差別、無理解に苦しんでいる 方々が教会にもいます。そのうめきや葛藤に耳を傾け、互い の弱さを担い合うことで、私たちをキリストの力がおおう教 会としてください。

・信徒と教師が、互いの役割の違いを理解しつつ協力し、それぞれの個性を尊重して支え合い、共に主の教会を建て上げ ることができますように。そして、職場、地域、家庭など、 あらゆる領域で信仰をもって生きる信仰者一人一人が、神の 国のために用いられることを確信させてください。

・ 私たちは立場を越えて、教会の交わりに生きる喜びを知り、 互いを尊敬し合いながら、それぞれの立場に届く形で福音を 分かち合っていきます。主よ、私たちに宣教のための知恵と 尽きることのない情熱をお与えください。

教会などで、複数の皆さんで祈る時には、 JCE7で用いたこちらの元データでどうぞ:



英語公式訳と15ヶ国語訳資料もあります: Ţ

このデータをA3にプリントアウトして、 赤線:切り目/点線:山折り/実線:谷折りにすると、 プリンタの余白によっては少しズレが生じますが、 A5サイズ8面の冊子にできます。 (A4→A6)